

芦屋市条例第18号

芦屋市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

芦屋市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例（昭和43年芦屋市条例第33号）の一部を次のように改正する。

次の表中下線又は太枠の表示部分（以下改正前の欄にあつては「改正前部分」と、改正後の欄にあつては「改正後部分」という。）については、次のとおりとする。

- (1) 改正前部分及びそれに対応する改正後部分が存在するときは、当該改正前部分を当該改正後部分に改める。
- (2) 改正前部分のみ存在するときは、当該改正前部分を削る。
- (3) 改正後部分のみ存在するときは、当該改正後部分を加える。

改正後	改正前
<p>(給料)</p> <p>第3条 特別職の職員の給料の額は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 市長 月額 <u>1,120,000円</u></p> <p>(2) 副市長 月額 <u>934,000円</u></p> <p>(3) 教育長 月額 <u>773,000円</u></p> <p>(期末手当)</p> <p>第4条 (略)</p> <p>2 期末手当の額は、それぞれの基準日現在（退職し、又は死亡した特別職の職員にあつては、退職し、又は死亡した日現在）において特別職の職員が受けるべき給料月額に、当該月額に100分の20を乗じて得た額を加算した額に<u>100分の230</u>を乗じて得た額に、それぞれ前項の基準日以前6月以内の期間におけるその者の在職期間に応じて、次の表に定める割合を乗じて得た額</p>	<p>(給料)</p> <p>第3条 特別職の職員の給料の額は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 市長 月額 <u>1,061,000円</u></p> <p>(2) 副市長 月額 <u>885,000円</u></p> <p>(3) 教育長 月額 <u>732,000円</u></p> <p>(期末手当)</p> <p>第4条 (略)</p> <p>2 期末手当の額は、それぞれの基準日現在（退職し、又は死亡した特別職の職員にあつては、退職し、又は死亡した日現在）において特別職の職員が受けるべき給料月額に、当該月額に100分の20を乗じて得た額を加算した額に<u>100分の220</u>を乗じて得た額に、それぞれ前項の基準日以前6月以内の期間におけるその者の在職期間に応じて、次の表に定める割合を乗じて得た額</p>

改正後	改正前
とする。	とする。
(略)	(略)
3 (略)	3 (略)

附 則

この条例は、令和7年4月1日から施行する。